

第1704回 2020年10月22日（木）《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘 2. 合 唱 「それでこそロータリー」 3. お客様の紹介

- 今日は新聞記事を拝借しようと思います。今朝の新聞記事に「世界一貧しい大統領」として知られ、20日に政界引退を発表した南米ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の演説がスペイン語圏のSNSで拡散され注目を集めている。
- 何故、このホセ・ムヒカ氏のことを話すかといいますと、私は毎月尾尻の宮内医院へ受診しておりその待合室に「世界一貧しい大統領」という童話が置いてありました。童話ですから内容も易しくて私にもよく分かり、世界にはこういう大統領がいるんだなあと思いました。
- いわゆる清貧の生き方と発言で現代社会に警鐘を鳴らしてきたムヒカ氏は、この日の引退演説でも、政治家のあるべき姿や人生哲学を語った。「若者たちに伝えたい。人生の勝利とは、金を稼ぐことではない。倒れても、何度も立ち上がりやり直すことだ」
- ムヒカ氏は1960年代、都市型極左ゲリラの創設メンバーとして軍事独裁政権に對抗。逮捕や拷問も受けた。民政移管後は政治家に転身し大統領にもなったが、収入のほとんどを寄付し、質素な生活を続けた。政治生活の幕引きを飾ったのはそんな人生を要約するような言葉だった。「憎しみは愛のような炎だ。愛は創造的だが、憎しみは我々を滅ぼす。私の庭ではもう何年も憎しみは育てていない」とも述べた。
- ウルグアイはかなり貧しい国ですが、国土はかなり大きいです。ですから清貧の暮らしをして収入のほとんどを寄付したというような方です。日本の政治家はロッキードから賄賂をもらったり、選挙の時はあちこちにお金をバラまいたり、ということが目につくのですが、こういうムヒカ氏のような政治家が世界にはおられるのだなあと思いました。
- ロータリーでは政治の話はしてはいけないのですが、たまたま宮内医院の待合室でこのムヒカ氏の童話を拝見し、今朝の新聞記事にありましたのでお話しさせて頂きました。

5. 幹事報告

【地区大会報告】

- 10月18日（日）、地区大会が行われ当クラブからは会長・幹事・会長エレクトの3人が参加しました。
13:00～登録開始、14:00～点鐘ということで16:00過ぎに終了しました。
- このような中での地区大会ですので、ガバナーを始め実行委員会の方々も相当ご苦勞されたようでした。
- 例年は前日に会長・幹事会を行い、その後が全会員による大会という二つに分かれていましたが、今回は一日でしたので大体が式典で、通常の会長・幹事会が殆どだったと思っております。
- 内容的には、今まで通り物故者の黙祷や委員会の報告・歓迎のことばであったり、大体が同じスケジュールで流されました。印象に残ったのは、先日ガバナー訪問で来られましたが、あのお人柄通り開催に向け本当に苦勞されたということで



実行委員会の皆様には本当にお世話になりましたということで、最後に涙声で感謝の言葉を述べられていました。

来年度は是非通常の地区大会ができればいいなという思いで帰ってきました。

【ガバナー事務所より】

- ①地区大会の御礼
- ②2023～2024 年度ガバナー・ノミニー選出の件
- ③2023～2024 年度ガバナー・ノミニー候補者提案に関する告知

【受付文書】

【例会変更】

【本日の配布物】

- ・第 1704 回例会次第
- ・第 1703 回例会週報

6. 記念日

- ・会社創業記念日
 - ・入会記念日
 - ・御結婚記念日
 - ・御誕生記念日（会員）
（配偶者）
- } 該当者無し

7. 米山記念奨学寄付金表彰

- ・第 1 回米山功労者
諸星利男さん、山谷洋子さん



- ・第 2 回米山功労者
淵脇美代子さん、諸星道治さん



8. スマイル報告

- 神崎達朗さん「すっかり秋めいて参りました。先日のゴルフコンペはラッキーセブンでした。」
- 大屋富茂さん「本日は諸星利男博士の卓話です。専門的なお話を聞かせて頂くことを楽しみにしております。」
- 鈴木和夫さん「スマイルします。」
- 古谷スミ子さん「会長・幹事・エレクト、地区大会ご苦労様でした。新しい地区大会は如何でしたか？諸星さん、本日の卓話楽しみにしております。」
- 山谷洋子さん「諸星利男さんの卓話楽しみにしております。」
- 桐山晃忠さん「肌寒くなりました。風邪・インフルエンザ・コロナウィルスに十分気を付けましょう。」
- 北村まり子さん「岐阜に行って来ました。スマイルします。」
- 原郁夫さん「スマイルします。」
- 原恵美子さん「今日は私の弟の退職祝いで出かけます。一つ違いの弟とはとても仲が良くて四人でよく食事に出かけたり、我が家に招待したりしています。これ

- からも元気に過ごしてくれたらと願っています。」
- 東島礼美さん「今年は山手の方寒いです。皆様お体気を付けて下さい。」
- 淵脇美代子さん「例会食、ちょっと楽しみにして来ました。とても美味しかったです。食欲の秋！太らない方法はないでしょうか？」
- 諸星道治さん「名水ロータリーゴルフコンペ御殿場で行いました。優勝できませんでしたでしたがベスグロにスマイルします。」
- 諸星利男さん「秋深まりました。卓話の機会を頂き感謝申し上げます。」
- 山本裕宣さん「スマイルします。」
- 矢端雅子さん「自己紹介スピーチ、4週間緊張が続き笑顔になれるようスマイル致します。いよいよ今日かしら・・・」
- 酒井健一さん「本日の卓話は諸星さんですね。来週は私です。見本を見せて下さい。」
- 合計 46,000 円

9. 出席報告

○会員数 16 名、○出席義務 16 名、○出席数 16 名、○出席率 100%

10. 地区委員会報告 ⇒ 特になし

11. 委員会及びその他の報告

○親睦委員会 諸星道委員長

皆さん、体調は如何でしょうか？後2週間ありますが11月5日バーベキュー大会を実施します。このところバーベキューをしてコロナになったとか、10人以上で飲食したらコロナにかかったとか、そういうニュースがありますので名水からは絶対に出ないよう十分注意をお願い致します。

当日は、皆さんの体温とか濃厚接触があったとかのチェックして戸川公園の方へ出さなければなりませんのでくれぐれもよろしくお願い致します。

○元会員の福原さんがちょうどこの日に戸川公園に来られるので、名水さんがいらっしゃるなら顔を出したいとのことです。またヒマーシさんも参加してくれるとのことで総勢20名になります。

12. 会員3分間スピーチ

【矢端雅子さん】



○4月より町田川崎エリアから転勤でお世話になりましていろいろご挨拶を兼ねて名勝を回り、桜がちょうどきれいな時期の異動で、東島さんの宝蓮寺大日堂で閻魔様を拝見させて頂いたり、新しく戸川公園にボルダリングの施設ができ、そこも拝見しました。

事務所自体は水無川の前でして、山々と天気と川を毎日見ながら秦野を堪能しております。

○仕事の生業ですが、放送・通信という事でケーブルテレビは今年で開設10周年になりました。5月より秦野市役所と防災協定再締結により、市役所一階に、4K放送のテレビ、自宅で防災無線が聞こえる地震情報端末機のブースを設置いたしました。電力に加え、今菅総理も値下げ要請の出で話題になっているモバイルや、自転車保険、少額短期保険も始まり、地域支援の商材を導入し、何でも屋になってきました。

○コロナ渦では、営業自粛したものの、テレワークによるNET, Wi-Fi 環境需要の増大、TV視聴が増え、韓国ブーム愛の不時着と、梨泰院クラスでネットフリックス視聴も増大いたしました。

現在1月からNET環境を、320メガから1Gに設備準備中です。コミュニティチャンネルの取材や、イベント運営等も行っており、ロータリー地区大会ではジェイコム湘南が運営のお手伝い、IMは伊勢原小山ガバナー補佐からご相談受けお手伝いさせて頂くことになりそうです。11月3日の野球大会も取材に伺いますので、皆様の事業だったり、活動を是非PRしていきたいと思いますので情報

がございましたら是非お声かけくださいませ。

- 個人の自己紹介ということで、最近家族で盛り上がっているネタがありましたので、名前についてお話ししたいと思います。

両親は群馬県出身で、私は町田で生まれずっと住んでおります。三人姉妹の末っ子でまた女かということで父は病院から帰ってしまったそうです。“雅子”というのは会社で適当に募集して“雅”“子”とつきました。

たまたま雅子でしたが、偶然皇后雅子さまと同じ学校で2つ後輩でソフトボール部とテニス部で一緒させていただき、ご成婚で名前の価値が高まりました。

- 苗字は両親は群馬の出身で、関東圏でも非常に少なく東京で二世帯、町田では我が家一世帯だけでした。最近9月に終わったTVドラマの、竜の道 で、高橋一生、玉木宏さんのイケメンの双子の復讐の話ですがその名前がなんと矢端という漢字も読みも一緒という驚くべきことがあり、家族で盛り上がりました。

父が、幻冬舎に電話をかけ、何故「矢端」なんだと名前の由来を確認したところ、神奈川県知事を4期務めた 内山岩太郎（群馬出身の親戚にあたる）が回顧録で矢端が沢山記載されており響きが良く、起用されたのではないかという事で末端の方でちょっと関わっていたかもしれないということで家族は盛り上がっていました。これを機に「矢端」という名前を憶えて頂ければと思います。今後共よろしくお願い致します。

【山本裕宣さん】

- 私は、昭和41年12月に宮崎県で生まれました。両親ともに宮崎県でした。母方の父が軍人で亡くなっており、父方の父も病気で亡くなっており私はお爺ちゃんを知らないで育ったような状況です。

4歳まで宮崎にいましたが、父の仕事の関係でこの秦野の地に来ました。

- 場所はレインボーカントリーがある所にトンネルの工事を請け負っており、父は他の会社で副社長のポジションで雇われていました。

- 小さいときは宮崎の海が凄くきれいで、毎年小学生の頃はお盆の時期に帰省していました。宮崎の海ですが、昔は50m位の浜（陸地）でしたが、地球温暖化の影響でしょうか今では10m位になってしまっている現状です。

- 父の仕事を見ながら、学校を出て平成2年に清水建設に入社しました。このことは父の仕事清水建設に引き合わせたい（紹介したい）との思いからでした。

私は今現在、秦野の本町で“興栄建設”の社長として邁進しております。

これからもよろしくお願い致します。



13. 卓話 諸星利男さん

- 今回、このような機会を頂きありがとうございます。

今日は“膵臓の話”をレジメに沿って行いたいと思います。

- まず膵臓はどこにあるのか？

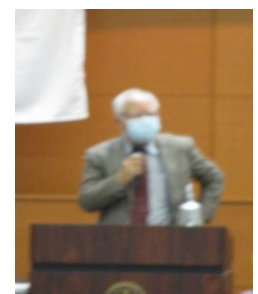
上部腹腔内～後腹膜、左側の季肋部直下にあり、ちょうど胃の後ろ側で、胃の前にある大網という脂肪膜の後ろにあります。十二指腸や腸間膜に接して存在し、体の奥深いところに隠れるように存在しますのでなかなか診断がしにくいのも事実です。

形状はヒトは「つ」の字を左右反対にしたような充実した形(塊)で、動物では膜状であり脂肪組織の中に隠れていてなかなか見つかりません。

- 機能はどのようなものか？

大きく分けると二つの機能になります。一つは外分泌機能で“膵液”を1日に数ℓを十二指腸に出し、そして食物の中の脂肪・たんぱく質等を分解する。もう一つは内分泌機能で四つのホルモンを産生する細胞が集団として存在する。

すなわち内分泌臓器であり外分泌臓器であるのが特徴です。では消化管が全部



そのような二つの機能をもっているかという、消化管は基本的には外分泌臓器ですが内分泌細胞も混ざっています。ただ塊としてある臓器は膵臓のみ、一方肝臓は外分泌細胞のみで一つも内分泌細胞は混ざっていないという偏りがあります。

- このような臓器ですが、その存在は最近まで分りませんでした。

膵臓をラテン語系の言葉で表すと Pancreas (パンクレアス) といい、言葉自体は古代ギリシャ時代からあったと言われています。“Pan” は全て、“creas” は肉の塊という意味ですが、その機能が良く分かりませんでした。

この時代、体液病理学という学問があるのですが、大体これはヨーロッパ系の古典医学の基本で、四つの体液(血液・リンパ液・髄液・胆汁)のバランスが崩れた時に病気が発症するという考えです。キリスト様が生まれた頃には一般医学常識となっていました。すなわちガレノスという有名な医者(ガレニズム)が全世界を制覇していました。その後キリスト教がヨーロッパ社会に広まると解剖も行われず、自然科学を無視されているような傾向になりました。ルネサンスが始まって自然科学が発展するまで解剖は行われなくなってきました。

- 日本でこの膵臓が知られたのはいつ？

一般的には解体新書(ターフェル・アナトミアの翻訳)はオランダの教科書の解剖表を訳して作成しました。杉田玄白・前野良沢・中野淳庵・桂川甫周の四名によるもので、この中でオランダ語ができるのは前野良沢だけ、杉田玄白は政治的な能力が高い人でこの方々を統合して本まで出版しました。桂川甫周は良家の出身で将軍家のお抱え医師の何代目かの人で有名な方でした。

膵臓はこの本の中ではオランダ語でグロートキリーと書かれていたのですが、これが訳すことが出来ず、「大機里兒」と直訳しました。この時やっと“膵”という臓器概念が日本に入ってきました。これが 18 世紀後半のことになります。

どうして訳せなかったかというとその当時の日本語の学問の主体は漢方医学で五臓六腑(肺・心・肝・脾・腎。胃・胆嚢・小腸・大腸・膀胱・三焦)という概念であり、膵臓という概念はありませんでした。

- その後急激に学問が発達し、宇田川玄随(蘭学の大御所)が「医学階梯」という翻訳本を発刊しその中で Pancreas (パンクレアス) を理解して「膵」を作成しました。

この翻訳本はベストセラーとなり「膵」の文字が一般化しました。

此の頃中国では月夷腺という単語があて得れたが、膵という字が中国に逆輸入され現在も利用されています。何故「医学階梯」がベストセラーになったのかという書き方が口語調であり優しく分かりやすく絵は銅板で書かれていたためです。

- 日本人は自ら膵臓を発見できなかったのか？



日本人が初めて腑分け(解剖)を行ったのは、漢方医の山脇東洋でしたが、その時に解剖の知識がまだ十分でなくて大腸と小腸の区別ができていなかったのも、恐らく膵臓も見えていないと私は思っています。

それに対して二例目の解剖は、18 世紀後半で蘭方外科医栗山厚庵が山口県萩で行いました。この時に腹腔上部に膿塊のようなものがあり、恐らくこれが膵臓であっただ

ろうと思われます。

- 膵の泌臓機能はランゲルハンス島という処で行われています。ランゲルハンスという人が大学院生の時に発見したのですが、彼は結核にてカナリア諸島近くのマディラ諸島で 42 歳で亡くなりました。この島には日本糖尿病学会が建てた記念碑があるそうです。

カナリア諸島でコロンブスは水を補給し、アメリカ大陸を発見しこれを聖水としてアメリカ大陸をキリスト教化したという説もあります。

またロンドン市内の地下鉄に St. Pancras (セント・パンクラス) という駅があり、膵臓病の守り神なのかと勝手に想像していたのですが、実際に書き物にも記載があるの

で満更私の想像も外れてはいないなと思います。

では日本にもそのような聖人が居られるかというと、先に話しました山口県の萩のお仕置き場に涎掛けを掛けたお地蔵様(掬蔵)がありますが、これが掬蔵の守り神、すなわち掬蔵様に相当するのかと考えています。

○今回は掬蔵の病気の話は全然できませんでしたが、今回の機会に感謝します。
ありがとうございました。

14. 点 鐘